

150以上の事例写真から手法・効用まで

これからの 屋内緑化・マニュアル

— 壁面緑化を中心にして —

藤田 茂 [監修]

仁科弘重 / 松本 博 / 宮崎良文 / 飯島健太郎 / 伊藤孝巳 [著]



屋内緑化推進協議会



季節を感じる空間の演出

株式会社プラネット / テラボニックスシステム、ハイドロカルチャーシステムほか



●成田空港一般エリア植栽

関係者とともに毎年設定される年間テーマに沿い、造作物、植物を利用して、空港施設内を日本の玄関にふさわしい華やかな演出で彩っている。植栽場所は成田空港1ビル南北到着ロビー、4階、見学デッキ、2ビル南北到着ロビー、2階、3階出発ロビー、出国検査場前、展望デッキ他があるが、その中でも年間5回（お正月、GW、夏期繁忙期、ハロウィン、クリスマス）設定されるイベント植栽（花などをふんだんに使用してテーマに沿った植栽）を行う箇所は1・2ビル南北到着ロビー、2ビル3階出発ロビー、出国検査場、1ビル4階になる。



植栽工法については人工土壌を使用することで、見た目とメンテナンスの作業性を向上させている。メンテナンスについては草花をふんだんに使用していること、装飾性が非常に高い植栽のため、約2日に1回行い植栽を維持している。メンテナンス業務の重要性が非常に高い案件となっている。



●汐留地下歩道内植栽

東京都港区の汐留の地下歩道内にある屋内植栽。地下通路という、屋内かつ外気の入る特殊な環境下で、環境に合わせた花と緑の植栽をしている。また、春・夏・クリスマス・正月・冬など、季節に合わせて植栽のデザインの一部を交換しており、年間を通してさまざまな景色を楽しむことができる。植物は、観葉植物の他に、季節に合わせた草花や樹木、耐陰性のある地被類など、さまざまな種類のものを植えている。植栽基盤としては、一部にテラポニックシステム⁽⁹⁾という底面給水のシステムを採用し、メンテナンスの効率化を図りながら、花と緑の管理を、年間通して行っている。自然光の入らない環境で植物が生育できるよう、施工時には植栽のための照明計画を行うなど植物に配慮された設計がなされている。地下の通路という緑のない空間に、季節を感じることもできる、花と緑の空間を演出することで、行き交う人々に安らぎを与えている。

※テラポニックシステム

土の根鉢の植物をテラトン(粘土を高温焼成したもの)の地盤に植えこむことで、ハイドロカルチャーシステムとほぼ同等の効果を得ることのできる仕組み。水管理は底面給水方式で行っている。



●徳島市アミコビル内にある私立図書館内の植栽

徳島市立図書館は「人と文化が出会う駅前図書館」。多くの人が行き交う交通の結節点に位置し、図書館がさまざまな目的を持った人と情報をつなげることで文化に出会える場の創造を目指している。館内にはテーブルやベンチ等の家具一体型の植栽、アルミプランターを利用した室内壁面緑化を設置している。壁面植栽ではプランター下部に照明を取り付け、生育不良を防ぎ、照明の当たらない場所へはフェイクを設置し壁面全体の美観を整えている。また、テラスに出るとテーブル植栽や壁面緑化、テラス周りには通年を通して楽しめる植物で埋め尽くしている。送却ポストには全面フェイクの壁を設置し施設師所に緑化を押しついたり落ち着いた剪定枝で図書を親しめる施設づくりを行っている。

・ハイドロカルチャーシステム

レカトン土の代わりを使用した水耕栽培方法。植物を健全に育成させ、清潔、軽重、リサイクル可能、優れた保水、排水性がある。



株式会社プラネット

愛知県豊橋市南大清水町字元町61-2
TEL: 0532-25-8677
FAX: 0532-25-5662
<http://www.g-planet.com/>